

オブジェクト倶楽部納涼イベント
怖い話ライトニングトークス

2004年7月8日
(株)永和システムマネジメント
角谷信太郎

A long time ago in a galaxy far,
far away.....

遠い昔
はるかかなたの銀河系で…

// TODO ここに超有名な雰囲気です「怖い話」とデカデカと書く

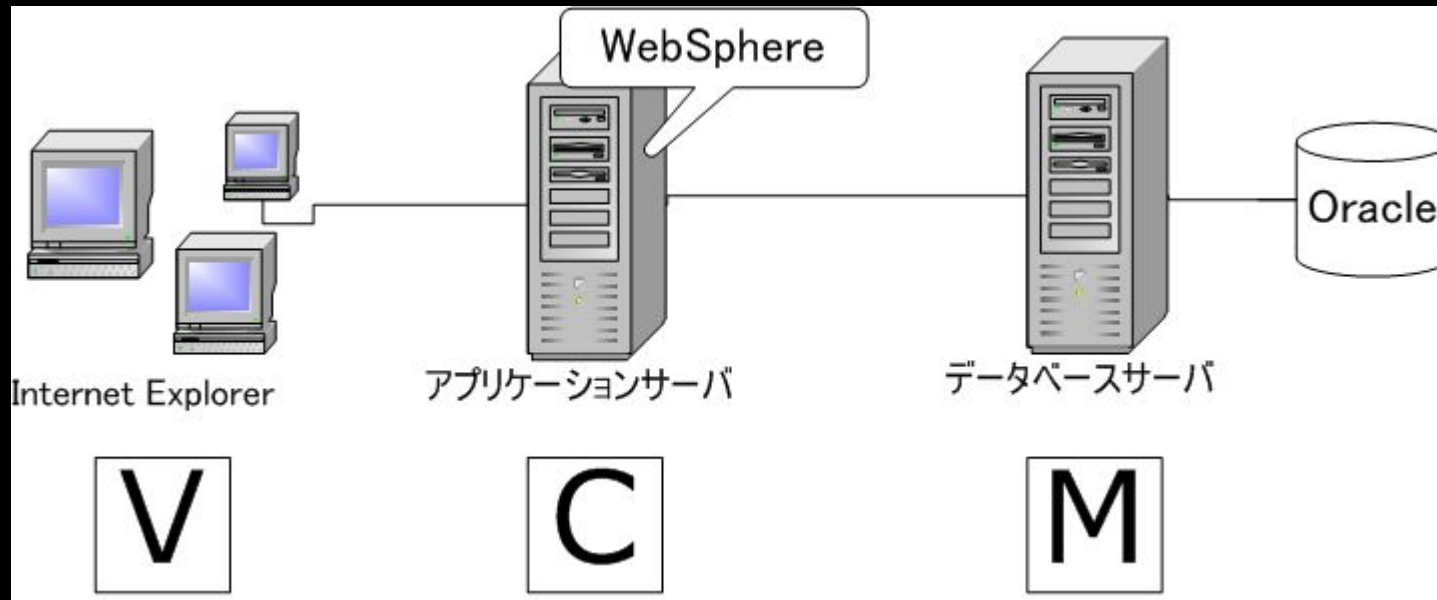
EPIISODE XVIII

オブジェクト指向は怖くない

プロジェクトはこんな感じ

- 世界各地の拠点および関連業者が利用するSCM
- メインフレームからオープン系へのダウンサイジング
- サーバサイドJavaは発注側も受注側も初体験!!
- 空から降ってきたスケジュールと体制
 - アーキテクチャを決定するフェーズが無い!
 - 人のアサインだけどんどん決まっていく

サーバサイドJavaでOOってのは MVCなんだからね (業界雑誌に書いてあったよ)



- Model: JavaBeans
- Controller: Servlet
- View: JSP

「もう動いたのか。あとは楽勝だな」

- はじめて触れた技術。その検証のために、プロトタイプ的な機能を作成・報告したら、そのまま本番コードのベースになっちゃった
 - 「ちょ、ちょっと待ってください」と伝えて許可をもらうまでには資料の用意と各種調整と会議をn回開催して承認のハンコをもらって——
- 作業分担は画面単位で縦割の「機能分割」方式
- 粛粛と、サンプルコード通りに機能を実装するメンバーたち……

動いているものは触るな

- 「ここをああすれば、もっと使いやすくなると思うんだけど、ここを修正したら関連して修正しないといけない箇所がどれだけあるのかわからない……コピってきて自分のところだけで使おう」

言ったモン負け

- 「これって明らかにおかしいけど、言ったら私が修正しないといけないんだよな……黙って自分の担当分だけ終わらせて帰っちゃおう。電車なくなるし」

時間切れ

0:00